

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	◎	スーパー（店長）	・物価上昇の懸念はあるが、人流活発化の方が上回り、景気は回復すると判断している。新型コロナウイルス感染症が収束しつつあり、各業態の様々なサービスイベントが盛んになるのも追い風となっている。
	◎	乗用車販売店（役員）	・新型車の発表を控えているのと同時に、今月減少しているメーカーからの車両出荷数が、今後大幅に好転する見込みであるため、景気は良くなると予想される。
	◎	乗用車販売店（役員）	・話題性の高い新型車の発表を控えているため、来客数及び注文数は多くなると予測される。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の行動制限から解放され、3～4月までは人の動向も多くなり売上は増加していたが、ゴールデンウィークが終わってからは、売上が落ちている。人の流れが回復傾向のため、今後は景気を取り戻し、上向きになると予想している。
	○	商店街（代表者）	・今後も今の商況が続く。
	○	商店街（代表者）	・景気は5月より上向きになると予想している。しかし、6月は梅雨になるため、若干厳しくなると考えられるが、お中元セール等でかなり上向き、新型コロナウイルス感染症発生前の経済状況に戻るのではないかと期待をしている。
	○	商店街（代表者）	・ゴールデンウィーク後は、その疲れもあり商店街へはなかなか客足が向かなかったが、6月は期待をしている。
	○	一般小売店〔精肉〕（店員）	・人流が活発になっているため、景気の若干の回復が予想される。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・これからシーズンに入るウナギの売上が良くなっている。ウナギが高価格で推移しているが、丑の日だけでなく、日頃から若干動きがあり期待している。他の魚でも入荷が少し増えており、イカが安くなったり、タイの漁獲量が増えたりと、売上に期待できる。
	○	百貨店（総務担当）	・夏の繁忙期に景気が良くなると予想している。
	○	百貨店（経理担当）	・今後も引き続き来店客の増加が見込まれ、婦人衣料品を中心に売上が改善すると予想される。また、外商客を中心に、美術品や時計等、単価の高い商品が売れ始めている。
	○	百貨店（営業担当）	・海外クルーズ船寄港の増加やチャーター機増発により、国内外から大きな人の動きが見込まれる。店頭でも、自家需要の紳士婦人雑貨やし好性の高いブランド品・舶来雑貨は価格の上昇で来客数が抑制されるが、購買意欲は継続しており、クレジット利用等で商品単価は上がっている。通販部門は落ち着きが見られるが、プレミアム付商品券の利用やギフトシーズン開始で店頭への来客数が増え、自家需要やギフト等、県内外からの観光需要である特産品需要増加で回復が望める。
	○	コンビニ（経営者）	・日々順調に消費は回復している。
	○	コンビニ（経営者）	・イベントや行楽で人の動きが活発になる時期である。気温が高くなるとの予測も出ており、飲料水やアイスクリーム、スキンケア化粧品の販売は、在宅業務が中心だったコロナ禍とは違い、販売数の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・インバウンドが右肩上がりが増加するにつれ、消費行動の意識にも良い変化が現れてくる。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・雨量にもよるが、梅雨に入るため来客数の伸びは期待できない。一方、客単価や買上点数は回復しており、売上が徐々に増加すると予想している。
○	衣料品専門店（店員）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことで、日常生活が戻り、消費活動も2019年ベースに戻ってくる。	
○	家電量販店（店員）	・来客数は、新型コロナウイルス感染症発生前に戻っていないが、全体的に家電の単価が上がっているため、売上が良くなっている。今後もこの状態が続くと予想している。	
○	家電量販店（従業員）	・暑くなり、冷房器具の需要が増えるため、若干売上に期待できる。	
○	住関連専門店（従業員）	・気温が高くなると、路面店への客足は減り、来客数は落ち着く見込みであるが、6月から開始されるプレミアム付商品券による需要喚起を期待している。	

○	その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	・販売量や1人当たりの購入量は前年と変わらないが、梅雨から夏にかけて店頭では、コーヒー豆やリキッドコーヒーの販売が主力となり、気温が上がるにつれ売上が伸び、前年と同様な増加になると予想される。
○	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	・中国のインバウンドが回復すると、新型コロナウイルス感染症発生前とほぼ同じ状況に戻る。
○	高級レストラン (経営者)	・このまま新型コロナウイルスの感染拡大がなければ、自粛していた人が動き始め活発になり、県内外やクルーズ船、飛行機などから観光客が多くなるため、景気が良くなっていく。
○	スナック (経営者)	・5月8日で新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症となり、5～6月にかけて、今まで控えていた会食が一時的に増えると予想される。ただし、物価の値上がりが続く、出費を控えることも予想されるため、短期的なものとして捉えている。
○	居酒屋 (経営者)	・クルーズ船や海外からの航空便が増加することで、更にインバウンドの客が増える傾向にある。
○	観光型ホテル (総務)	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、需要が増加している。
○	都市型ホテル (スタッフ)	・世界水泳や夏のイベント等が控えているため、人流の増加が景気に反映される。
○	通信会社 (企画担当)	・取引先の状況は、新型コロナウイルスの感染を意識しないほど、活発化してきた印象を受ける。
○	通信会社 (役員)	・生活物資の値上がりの影響は引き続きあるが、全国旅行支援や地域の道路建設事業の影響、株価上昇、政府の少子化対策など、生活を取り巻く環境にやや明るさがみられる。
○	観光名所 (従業員)	・来客数が増加しているため、若干良くなる。
○	観光名所 (職員)	・来場者数は増え、客の購買意欲が高まっている。
○	ゴルフ場 (営業)	・ゴルフ場の企業のコンペ予約が増加し、半年先の予約が入っている状況である。ラウンド後のパーティーはまだ予約が増えておらず、本格的な景気回復には至っていない。
○	理容室 (経営者)	・今から暑くなるため、来店サイクルは短くなり、また、新規の客が来店する季節になってくるため期待したい。
○	その他サービスの動向を把握できる者 [介護サービス] (管理担当)	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されたことに伴い、客の動きが出て景気が好転に向かうと考えられる。一方、人流増加により新型コロナウイルス感染症の第9波が発生すれば、サービスにキャンセルが増加することも懸念される。
○	住宅販売会社 (従業員)	・国内外の景気はウクライナ情勢もあり、景気が落ち込むことも予想されるが、今のところ持ちこたえることで、若干の値上げで済んでいる。消費は若干落ち込むと考えられるが、観光では回復もみられ、景気は良くなってくる。
□	商店街 (代表者)	・徐々に暑くなるが、仮店舗は青空市場であり客に迷惑を掛けているため、順調に再開を進めたいと考えている。
□	商店街 (代表者)	・商品の価格が1～2割ほど上がった影響で、買上点数が減少したため、売上が伸びていない。賃金の実質の手取り額が上がらなければ、消費者行動は活発にならない。
□	商店街 (代表者)	・景気は若干良くなっているが、諸物価の上昇で全般的には変わらない。特に、食料品等の生活必需品は購入しなければならないので、生活必需品以外の商品は売上が下がるのではないかと危惧している。
□	商店街 (代表者)	・値上げの話題が多くなっている。小売店は、しばらく厳しい状況になるのではないかと心配をしている。
□	商店街 (代表者)	・8月頃までは、現状が続くと予想される。
□	百貨店 (企画担当)	・晩夏から初秋にかけては、大きな商戦がなく、売上は伸び悩むことが予想される。
□	百貨店 (販売促進担当)	・物価高騰により客単価が落ちることが予測されるため、景気は変わらない。
□	百貨店 (経営企画担当)	・外出増加に伴う化粧品や衣料品の売上増加傾向は、しばらく継続する見込みである。特選ブランドの値上げも景気の影響を避けられない。
□	百貨店 (業務担当)	・多くの客は、相次ぐ物価の上昇により、消費に対する防衛本能が高まり、買物も慎重に検討し、必要がなければ購入しない。夏場にかけて電気料金値上げの報道もあり、しばらくは良くなる要素がない。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・時間給や年収ベースの引上げが行われているものの、世帯収入が増加に転じるまでには、制度変更を含めまだ時間が必要である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の収束後、人流回復は見込まれるものの、相次ぐ値上げにより消費行動としては余り活発にならず、プラス要素とマイナス要素が相殺される形になると予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・特に都心部では、来客数が大幅に戻っている。新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻っているが、商品の値上げが続き所得が目減りすると、若干悪い状況へ向かうことが予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・当店の特性はオフィス立地であり、新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、通常勤務に戻り来客数は増加している。それ以外には、来客数増加の要因はなく、景気はほぼ横ばいで推移している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・天候が落ち着いているため、来客数の増加を期待している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・様々な値上げに加え、最近の異常気象により8月の気候状況が不安である。そのため、夏の衣料品の需要について全く見当が付かない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・来客数減少が回復せず、しばらく継続していくことが予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・物価が上昇し、客の財布のひもは固いままであるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・当面は現在の厳しい状況が続き、車検や点検のサービス部門で会社の売上と利益を下支えする状況である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が変わる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に分類され、旅行や行楽、外食など活気を帯び、インバウンドも新型コロナウイルス感染症発生前に近づいているが、予算が回っていない業界もあり、今後も厳しいと予想される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・2～3年前より経済が回り、景気が良くなることが理想である。しかし、来月の予約は少なく、まだ元の状態には戻っていないため厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・仕入原価や販売価格が上昇しており、消費者にも更なる物価上昇があり、景況感が良くなっているとはいえないのが現状である。足元の業績が改善しても、コロナ禍の影響によるマイナス面を取り戻すまでにはまだ時間が必要である。すぐに景気が個人所得へ反映されることはなく、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（専務）	・今月で全国旅行支援が終わるため、今後の動きが心配である。しかし、団体客も動き始めており、客は増加すると予想される。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行され、規制が緩和されたことにより、新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつある。しかし、各支援の終了や物価高騰などもあり、状況は変わらないと見込んでいる。加えて、人材不足による受注制限も心配である。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（販売担当）	・宿泊では、目的地の近くに宿泊できるため、余り状況に変化はない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・稼働状況は好調であるため、現状維持で推移すると予想される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（職員）	・全国旅行支援が、6月で終了することに対する懸念もあり、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・韓国以外のインバウンドは増加傾向にあり、イベントもほぼ回復しているが、天候に左右される時期でもあり楽観はできない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・夏に向け人流が増えているが、自家用車やレンタカーなどの移動が増加するため、タクシー利用がその分少なくなると考えられる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・特にトピックスがないため、景気状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・光回線の販売件数が変化するような要因がなく、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（従業員）	・全国的なゴルフブームはしばらく続くため、数か月は現状の入場者数で推移すると予想される。

	競馬場（職員）	・賃上げによるプラス面はあるが、電気代や生活必需品の値上げがどのように影響してくるかについては不透明さがある。	
	美容室（経営者）	・例年春先から夏にかけて景気に変化がないため、横ばいが続く予想している。	
	美容室（店長）	・ゴールデンウィークが終わり、日常が戻りつつあるが、乗客数は減少しており、景気が良くなっているようには考えられない。	
	設計事務所（所長）	・今後も材料費や製品代の値上がりが予測され、生活必需品の価格も上昇傾向が止まらない。しかし、地方では収入がなかなか上がりず、景気状況は変わらない。	
	設計事務所（所長）	・今月の景気は3か月先になるため、やや悪い状況である。	
	住宅販売会社（従業員）	・一時的に客の動きは出ているが、契約状況等を踏まえると、まだ景気が良くなるような実感はない。	
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	・気温が上がると野菜の相場も上がるため客の消費意欲が下がり、今後3か月程度は厳しい状況となる。完熟マンゴーの価格が前年より2割高くなっているものの、ギフト関係の動きが強くなっているため期待している。	
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・どの商品も値上がりしており、売上が伸びることはない。今年の夏は前年以上に暑くなると予想され、更に売上が減少することが懸念される。	
▲	スーパー（総務担当）	・食料品の値上げが続き、今後は消費者の慎重な購買がますます強くなる。そのために、ディスカウント業態や大手資本系小売店等との価格競争に巻き込まれ、販売点数を増やすことができなければ、前年割れの状態で推移していくものと懸念される。	
▲	コンビニ（経営者）	・1品単価が大幅な値上げになっており、買上点数は大幅に下がるとみられることから、厳しい状況は今後も続く。	
▲	家電量販店（店長）	・物価高の影響が大きく、しばらくは厳しい状況が続く。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたが、現在はモノよりコトに消費者意識が向いている状況である。	
▲	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・当ショッピングセンターにおいて景気の状態はシネマの集客力に依存する。前年の夏は記録的なヒット映画があったが、今年のヒット作は前年ほどではないと予測している。また、夏になると電気代が高くなり、一般家庭の家計に悪影響を及ぼし、消費動向にも陰りがみえてくると予想している。	
▲	一般レストラン（スタッフ）	・ある程度、景気対策などが出尽くした印象を受ける。	
▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客の工場操業計画が山積みである状況から工事量不足が予測され、その影響により当社の景気は悪化傾向となることが危惧される。	
▲	設計事務所（代表）	・更なる商品値上げや金利上昇があると予想される。	
▲	住宅販売会社（代表）	・現在よりも良くなる要因がない。このところ、原材料の価格が高くなり、木造住宅に関しては、1棟辺りの金額がかなり上がっているため、景気は若干悪くなっていく。	
×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・花屋にとって7～8月の猛暑は、消費が減る要因になっており、切り花メインで販売しているため、夏の景気は悪くなっていく。しかし、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたこともあり、介護施設等への納品を停止していた花屋が再開するなど明るい話題もあり、今後の経営に力を入れたい。	
×	家電量販店（店員）	・当店は郊外店舗になるが、街中の話題のスイーツ店やスーパーマーケットが開業するなど競合店が多くなっている。この景気の悪さは、競合店の影響が大きく響いている。	
×	その他専門店〔書籍〕（副店長）	・当市中心地の再開発工事が続き、中心繁華街の集客力の低下と交通の要地である駅周辺への人の集中が、一層進むと予想される。	
企業動向関連	◎	金属製品製造業（事業統括）	・人の動きが更に活発になり、海外からの旅行者が増え、景気が良くなると予想される。
(九州)	○	家具製造業（従業員）	・訪日外国人を含む観光需要の回復により、景気は上向き傾向にある。ただし、原材料の価格高騰は相変わらず続いており、利益確保が難しい状況である。
	○	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今後の購入開始や納入が始まると見込まれ、景気はやや回復する。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・客の組織体制が変わるため、取引先の状況もそれに応じた動きになりつつある。将来の景気動向を考え、それに沿った改革がされており、今後に期待している。

○	電気機械器具製造業（取締役）	・パワー半導体関連の取引先からは引き合いが強く、景気は回復していくと予想される。
○	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・今後の予定では、予算以上の生産が計画されている状態である。現時点で上期中は、このような状態が続くと考えられる。
○	建設業（社員）	・官公庁の発注は発表されたが、民間工事の情報がないため、まだ景気が良い状況ではない。ただし、少しずつではあるものの景気は回復しつつある。
○	金融業（従業員）	・家電販売は横ばいながら、自動車や住宅の販売は持ち直しの動きが見られる。また、百貨店やスーパーマーケットの売上が増加傾向にあり、飲食店や旅行業者の売上も上向いている。
○	金融業（営業）	・新型コロナウイルス感染症の第9波も予想されるが、新しい生活様式は継続し、経済活動への影響は小さい。
○	金融業（調査担当）	・大手半導体メーカーにおける新用地取得方針の表明等、九州域内で半導体産業を中心として、設備投資の気運が高まっている。産官学連携による更なる進展に期待している。
○	新聞社〔広告〕（担当者）	・広告出稿に関する問合せが増えてきている。
○	広告代理店（従業員）	・5月から新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症となり、新型コロナウイルス感染症が話題に上がることも少なくなっている。また、ロシアによるウクライナ侵攻についても、今後進展が見込まれ、円安はまだ続いているものの、一時期の悪い流れから回復基調に入っており、徐々に景気は良くなっていく。
○	広告代理店（役員）	・今後、中国からのインバウンド誘客が始まることで、景気回復効果を期待する声を聞くことが多い。また、国内旅行やレジャー全般において、夏以降に需要拡大することを期待している。
○	経営コンサルタント（社員）	・仕事の引き合いが開始しているため、今後を期待している。
□	農林水産業（経営者）	・6月は梅雨に入るため落ち込むことが考えられるが、7月以降はビールの消費に合わせて鶏の消費も期待される。今年は輸入物が少なく、国内物に対する需要が強いと予想され、冷凍食品メーカー向けの供給については、今年は奪い合いの状況になる。今年後半も売上は大きく期待できないが、利益はある程度確保できる状態になる。
□	繊維工業（営業担当）	・工場は人、電気、運賃など様々な問題があり、達成できるか不安がある。何か大きな受注でもない限り、まだ苦しい現状は変わらない。
□	化学工業（総務担当）	・今年度の売上は、前年度から引き続き横ばいになると想定している。
□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・生産者には受注関係が最も重要であるが、現在値上げの浸透により、出荷量が若干減少している。しかし、新商品や値上げの浸透により、他の商品がある程度動き始めるのではないかと期待をしている。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い等の状況から、しばらく現状に変化はないと予想される。
□	輸送業（従業員）	・取扱量は低調で、倉庫も空きスペースがあるため、運送会社も値上げができず、空車が目立っている。
□	通信業（職員）	・官庁が施主の営業案件数と受注予想額が伸びておらず、今年度の受注目標に対して厳しい状況となっている。
□	金融業（営業担当）	・売上は回復基調であるが、人件費や原価の上昇により利益は減少傾向が続いている。また、融資の返済が6月以降に始まる客が多いため、中小企業の景気回復は多くは見込めない。
□	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ分類されたことで、製造業や商業施設、飲食店等では新たな取組やチャレンジがみられる。しかし、物価高騰やインフルエンザの流行等の懸念材料もあり、当面は現状程度の推移が続く。
□	経営コンサルタント（代表取締役）	・順調に良くなるとは考えにくいですが、新型コロナウイルス感染症が収束しつつあり、元の状態に企業が戻り始めている。5月の景気が好調であったこともあり、今後も引き続き伸びていくことは考えにくいですが、景況は変わらないと予想される。
□	経営コンサルタント（社員）	・節約志向は加速し、相次ぐ値上げにより、健康に良い甘酒等の売上が伸びてきている。

	□	経営コンサルタント（代表取締役）	・当社Webのアクセス数や問合せ件数には特に変化がない。
	□	その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・海外経済やロシア・ウクライナ情勢は不透明感が強く、原材料価格の高止まりや労働市場のひっ迫、新型コロナウイルス感染症関連での融資の返済、金利動向など、懸念材料がある。現状からも景気に大きな変動はない。
	□	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の調査や計画策定の業務について、入札の機会は増えるが、安く入札する業者が、複数の市町村から同じように落札するため、他の会社が受注するには、更に安く応札しなければならず受注の機会は限られる。そのため、景気は変わらない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・景気は若干良くなった程度であるが、比較的順調な受注が見込めている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先からの受注は減っているが、営業対策により少しずつ売上につながっている。引き続き営業強化をして現状維持に努めたい。
	▲	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・市場価格が下落傾向となり、更に半導体の生産性が上がらない厳しい状況になる。
	▲	輸送業（総務担当）	・物価高騰やエネルギー資源の高騰が家計に影響を及ぼし、景気は冷え込んでいる。加えて、社会保険料等が引き上げられるため、賃金が上昇しても手取りの金額は少なくなり、家計は苦しい状況となる。そのため、購買意欲は減退し、景気は悪くなっていく。
	▲	通信業（経理担当）	・取引先からの値上げ要請が相次いでいるが、販売価格への転嫁がうまくできるかは不透明である。大ダメージとはいかないまでも、収益への影響は避けられない。
	▲	不動産業（経営者）	・金融機関等の話題では、好材料がなく、まだ先行き不透明である。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・客の需要見込みより、今後の景気は不透明な状況である。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・現在の景気は横ばいであるが、料金改定の提案をすると、物価高の影響もあり、2～3か月後であればと検討する企業が多い。登録者に関しても、先日付での派遣稼働が可能との連絡が入ってくるが多くなっている。
	○	人材派遣会社（社員）	・大幅な求人数の増加は見込めないが、求人誌の求人数は増えている。また、正社員紹介では求人数の問合せも多くなっている。
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症発生前の稼働件数に戻ると予想されるが、それ以上の稼働件数の伸びは不透明である。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・サービス業関連では、夏需要の取り込みを積極的に考えている状況である。また、インバウンド需要もかなり伸び、活気が出ると予想される。
	○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・夏を控えて外出の機会が増え、それに伴い購買も増えるのではないかと考えている。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・インバウンドが、新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつあるため、景気は若干良くなることが予想される。
	○	学校〔大学〕（就職支援業務）	・5月8日より、新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法における5類感染症に移行され、日本経済の正常化が内需を中心に緩やかに持ち直している。個人消費では、物価高による下押しはあるが、賃金上昇を追い風に回復が続くと考えられる。また、輸出は、中国経済の持ち直しやインバウンド消費の回復などにより、底堅い推移が見込まれる。この状況のなか、企業の新卒採用意欲は高く、今後もこの状況が続くと予想している。
	□	職業安定所（職員）	・事業環境悪化の要因が複数あり、先行き不透明な状況である。業種によっては、人手不足についても状況の把握が必要となっている。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加傾向で推移すると予想されるが、新規求職者数や充足数が減少傾向であることから、人手不足の状態が継続し、景気は変わらないと判断している。
□	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス感染症が収束して再び人材不足になっているが、特に悪くなる要因は見当たらず、当面の間は今の状況が続くと考えられる。	
▲	人材派遣会社（社員）	・求人の動きや登録者の転職志向が前年を下回っており、この流れは続く。	

	▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	・ 5月から生活必需品や新聞購読料の値上げが続いている。原材料費や人件費の高騰もあるが、生活スタイルの変化も大きく、今後、新しい生活様式の動向にも注視したい。
	×	—	—